

東吳大學 111 學年度碩士班研究生招生考試試題

第1頁，共2頁

系級	法律學系碩士班 A 組(公法)	考試時間	100 分鐘
科目	日文	本科總分	100 分

※一律作答於答案卷上(題上作答不予計分)；並務必標明題號，依序作答。

一、 請將以下日文單字翻譯為中文法律用語(每題2分，共30分)

例：義務付け訴訟 → 課予義務訴訟

1. プライバシー権
2. 全体の奉仕者
3. 水際対策
4. マグナ・カルタ
5. わいせつ物頒布等罪
6. 自己情報コントロール権
7. ヘイトスピーチ
8. マスメディアへのアクセス権
9. アカウタバリティ
10. オンブズマン
11. 環境アセスメント
12. 科料
13. 棄却差し戻し
14. 相殺の抗弁
15. メタバース

二、 請寫下以下日文單字的平假名(每題2分，共10分)

例：弾劾 → だんがい

1. 罷免
2. 聴聞
3. 羈束行為
4. 未決勾留
5. 気候変動枠組条約

三、 請將以下段落日文翻譯成中文(每題15分，共60分)

1. 「検索事業者による検索結果の提供は，公衆が，インターネット上に情報を発信したり，インターネット上の膨大な量の情報の中から必要なものを入手したりすることを支援するものであり，現代社会において，インターネット上の情報流通の基盤として大きな役割を果たしている。そして，検索事業者による特定の検索結果の提供行為が違法とされ，その削除を余儀なくされるということは，上記方針に沿った一貫性を有する表現行為の制約であることはもとより，検索結果の提供を通じて果たされている上記役割に対する制約でもあるといえる」。(日本最高法院平成29年1月31日判決)

【試題未完，請翻下頁！】

東吳大學 111 學年度碩士班研究生招生考試試題

第2頁，共2頁

系級	法律學系碩士班 A 組(公法)	考試時間	100 分鐘
科目	日文	本科總分	100 分

2. 政府は 7 日、新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく「まん延防止等重点措置」を沖縄、山口、広島の 3 県に適用することを正式決定した。適用期間は 9 日から 31 日まで。適用に合わせて、「基本的対処方針」を変更し、感染対策の認証を受けた店でも知事の判断で酒類の提供停止を可能にするなど一部規制を強化した。緊急事態宣言やそれに準じる重点措置は昨年 9 月末にすべて解除されており、岸田政権での適用は初めて。岸田文雄首相は 7 日、3 県への適用を決定した政府対策本部で、「政府としても 3 県の感染拡大に早急に対応する必要があると判断した」と述べた。(朝日新聞デジタル 2022 年 1 月 7 日、新型コロナ情報)

3. 生存権保障について、政治部門による具体化を第一次的に前提としつつ、その具体的措置について、司法的統制を可能な限り及ぼそうという構図が、日本國憲法では予定されているように思われる。法的保障という文脈でいえば、憲法 25 条は、その規範性が多層的ないし動態的であることを承認しつつ、「核心的部分については裁判所に迅速かつ実効的救済を要求し、立法府には社会保障制度を漸進的・段階的に整備していく責任を負わせているものと考えられる」。(長谷部恭男編『論究憲法：憲法の過去から未来へ』有斐閣，2017 年，406 頁)

4. 「法が人を守るんじゃ無い。人が法を守るんです」……「尊くあるべきはずの法を、何よりも貶めることは何だか分かってる？それはね、守るに値しない法律を作り、運用することよ。人間を甘く見ないことね。私たちはいつだって、よりよい社会を目指してる。いつか誰かがこの部屋の電源を落とすにやって来るわ。きっと新しい道を見つけてみせる！シビュラシステム、あなた達に未来なんてないのよ！」。(サイコパス第 22 話「完璧な世界」，常守朱監視官セリフの一節)

【本試題完，以下空白！】